

## いっしょに考えよう。プラスチックごみ！！

22日（月）6時間目4年生がプラスチックごみの勉強をしました。講師は、西井ノ口の悠友クラブの光田守さんです。

まず、プラスチックごみの現状を知りました。①カメの鼻にストローが突き刺さっている。②アザラシの体にあみがまとわりついている。③水鳥にゴミ袋がまとわりついている。④マッコウクジラがビニール袋やペットボト

ルを食べてしまう等、人が海に捨てたプラスチックごみが、海洋生物を死に至らせている現状を教えていただきました。

そして、世界中どこにでもプラスチックがあり、多目的教室を中心に身の回りにあるプラスチックを探しました。下敷き、キャップ、ハサミ、時計、上靴、エアコン、机、ホワイトボード… たくさんありました。

次に、プラスチックの歴史や現状を知りました。プラスチックの歴史のスタートはビリヤードの球であること、そこから様々なものに使われるようになり、今は、プラスチックの軽さからロケットにも使われていること等を教えていただきました。80年前はプラスチックの総量は200万トンだったのが、今は、4.6 億トンも使われていることや海に流れるプラスチックが年間800万トンあり、それはジェット機5万機に相当するらしいです。

最後に、光田さんがバイパスの側道を中心に地域のゴミ拾いをしてくださっていることを知り、「プラスチックはどうすればよいか」を最後に考え、2人が発表して終了となりました。今日の勉強を生かして、子ども達が少しでもプラスチックやゴミに感心を持ってほしいです。

